

1 施設概要

施設名	高知市土佐山運動広場		施設所管課	スポーツ振興課					
指定管理者名	高知市スポーツ振興事業団グループ								
指定期間	平成 30 年 4 月 1 日 ~ 令和 5 年 3 月 31 日	公募・指名の別	公募						
設置目的	高知市の体育施設の一元的な管理運営と生涯スポーツ普及・振興を図る。								
業務内容	1. スポーツ施設の管理運営全般(施設利用許可含む) 2. 施設使用料の徴収事務 3. スポーツ振興に関する自主事業実施								
施設内容	・グラウンド(ソフトボール2面)								
職員体制	常勤職員	0人	非常勤職員	0人	契約社員	0人	合計	0人	
	パート職員	0人	アルバイト	0人	その他	0人			

※ 職員は現場施設に駐在せず、総合体育館事務室にて、予約受付・使用料徴収を行っている。

2 目標値と達成状況(指定管理者記入欄)

指標	平成 30 年度 (1 年目)		令和 元 年度 (2 年目)		令和 2 年度 (3 年目)		令和 3 年度 (4 年目)		令和 4 年度 (5 年目)	
	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績
事業参加者満足度(点)	3.50	-	3.50	4.00	3.55		3.55		3.60	
施設利用者満足度(点)	2.80	-	2.80	-	2.84		2.84		2.84	
事業参加者数(人)	100	125	100	29	105		105		110	
施設利用者数(人)	3,000	2,759	3,000	2,323	3,030		3,030		3,060	
施設利用率(パーセント)	10.00 %	7.79 %	10.00 %	6.19 %	10.05 %	%	10.05 %	%	10.10 %	%
施設使用料収支率(パーセント)	20.00 %	17.09 %	20.00 %	6.43 %	20.05 %	20 %	20.05 %	%	20.10 %	%
目標値に対する達成状況について	事業参加者数:目標値を上回ることができた。「ふれあいサッカー体験DAY」が天候不良により中止となったが応募は20名だったためこれを含めると145名となり目標値を大きく上回ることもできていた。 施設利用率:目標値には届かなかったが昨年並みとなった。 利用者数:利用件数は減少しているが利用者数はこれまでの水準を維持できたため目標値の90%以上となった。他施設と比較して低く、今後更なる利用増加策に取り組む必要がある。		事業参加者満足度:事業数は少なかったが、実施した事業の満足度は非常に高かった。 施設利用率:目標値には届かなかったが昨年並みとなった。他施設と比較して低く、今後更なる利用増加策に取り組む必要がある。							

3 利用状況(指定管理者記入欄)

	平成 30 年度 (1 年目)	令和 元 年度 (2 年目)	令和 2 年度 (3 年目)	令和 3 年度 (4 年目)	令和 4 年度 (5 年目)
利用者数	2,759 人	2,323 人	人	人	人
利用者数:対前年度比	95.5 %	84.2 %	0.0 %	- %	- %
開館日数	359 日	360 日	日	日	日
利用率	7.79 %	6.19 %	%	%	%
利用状況についての評価	利用者数:利用件数は減少しているが利用者数はこれまでの水準を維持できたため対前年度比で95%以上となった。		利用率:利用者数は減少しているが、1団体当たりの利用者数が少ないことが要因であり、利用率は前年度と同水準となった。		

※ 利用率の算定方法: 利用率 = 使用数 ÷ 使用可能数
 実際の使用数(使用時間) ÷ 使用可能数(1日の使用可能時間 × 日数)で除した数が利用率となる。

4 収支状況(指定管理者記入欄)

単位:千円

		平成 30 年度 (1 年目)	令和 元 年度 (2 年目)	令和 2 年度 (3 年目)	令和 3 年度 (4 年目)	令和 4 年度 (5 年目)
収入	指定管理料	1,209	1,282			
	利用料金収入	222	166			
	自主事業収入	0	0			
	その他収入	0	0			
	収入計	1,431	1,448	0	0	0
支出	人件費	0	0			
	光熱水費	293	98			
	保険料	28	20			
	維持管理業務費	662	659			
	修繕費	201	205			
	事業費	98	41			
	消費税及び地方消費税	16	43			
	その他の公課費	0	1			
	事業所税	0	0			
	その他	0	0			
	支出計	1,298	1,067	0	0	0
差引収支 (収入計-支出計)	133	381	0	0	0	

5 運営状況分析指標(指定管理者記入欄)

	平成 30 年度 (1 年目)	令和 元 年度 (2 年目)	令和 2 年度 (3 年目)	令和 3 年度 (4 年目)	令和 4 年度 (5 年目)
① 利用料金比率	15.5 %	11.5 %	- %	- %	- %
② 指定管理料比率	84.5 %	88.5 %	- %	- %	- %
③ 人件費比率	0.0 %	0.0 %	- %	- %	- %
④ 利用者1人当たりの管理コスト	470 円	459 円	- 円	- 円	- 円
⑤ 利用者1人当たりの高知市負担コスト	438 円	552 円	- 円	- 円	- 円
⑥ 外部委託費比率	51.0 %	61.8 %	%	%	%

※【運営状況分析指標の考え方】

指 標	指 標 の 説 明
① 利用料金比率	収入の総額に対して利用料金収入の占める割合を表す。
② 指定管理料比率	収入の総額に対して指定管理料の占める割合を表す。
③ 人件費比率	支出の総額に対して人件費の占める割合を表す。
④ 利用者1人当たりの管理コスト	支出の総額を延べ利用者数で割った金額を表す。
⑤ 利用者1人当たりの高知市負担コスト	指定管理料を延べ利用者数で割った金額を表す。
⑥ 外部委託費比率	支出の総額に対して外部委託費の占める割合を表す。

6 利用者の満足度調査等(指定管理者記入欄)

		平成 30 年度 (1 年目)	令和 元 年度 (2 年目)	令和 2 年度 (3 年目)	令和 3 年度 (4 年目)	令和 4 年度 (5 年目)
調査の実施内容	① 調査方法	実施なし	アンケート方式			
	② 調査期間		通年			
	③ 配布数		2部			
	④ 回収数		2部			
	⑤ 回収率	- %	100.00 %	- %	- %	- %
調査結果		事業参加者満足度の目標3.50に対し実績は4.00であり、目標値を達成することができた。				

7 利用者からの苦情・意見等及びそれらへの対応(指定管理者記入欄)

日付	苦情・意見等	対応状況

8 評価シート(自己評価・一次評価・総合評価)

(1) 業務の履行状況の確認

評価項目(小項目)	確認内容	自己評価	一次評価	総合評価
		指定管理者	施設所管課	指定管理者業務評価委員会
1 開館時間等	条例に基づき、開館時間・休館日は遵守されているか	3	3	3.0
2 法令等遵守	地方自治法、施設に係る条例その他関係法令等は遵守されているか	3	3	3.0
3 職員配置	適切な人員配置がされたか	3	3	3.0
4 職員研修	管理運営のために必要な研修等が適切に行われたか	3	3	3.0
5 使用許可業務	条例に基づき、適正な申請受付業務・使用許可業務が行われたか	3	3	3.0
6 施設の平等利用の確保	施設利用申請等に対する平等の確保策はとられているか	3	3	3.0
7 使用料	使用料の徴収・減免等の手続は適切に行われているか	3	3	3.0
8 保守点検業務・警備業務	保守点検業務・警備業務は適切に行われたか	3	3	3.0
9 清掃・維持管理業務	清掃、維持管理業務は適切に行われたか	3	3	3.0
10 廃棄物処理業務	廃棄物処理業務は適切に行われたか	3	3	3.0
11 修繕業務	修繕業務は適切に行われたか	3	3	3.0
12 事業の実施状況	条例、事業計画書等に基づき、事業を実施しているか	3	3	3.0
13 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準か	3	3	3.0
14 利用促進の取組	利用者増加のための対策は適切に行われたか	3	3	2.8
15 施設賠償責任保険の加入	施設賠償責任保険に加入しているか	3	3	3.0
16 利用者の安全確保対策	事故時の対応体制(マニュアル作成、訓練等)が確立されているか	3	3	3.0
17 緊急時対応	緊急時・防災時の対応体制(マニュアル作成、訓練等)が確立されているか	3	3	3.0
18 個人情報保護に関すること	個人情報保護に関する対策は適切か	3	3	3.0
19 情報公開に関すること	情報公開に関する対応は適切か	3	3	3.0
20 備品購入・管理の状況	備品の購入手続・管理体制は適切に行われたか	3	3	3.0
配点60点(20項目×3点)		小計	60	59.8

評価基準

点数	小項目の評価基準
3	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がなされ、適正であると認められる。
2	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営に達しておらず、簡易な改善や一部目標の見直しを要する。
1	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がほとんどなされておらず、早急な改善が必要である。
0	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営が全くなされておらず、抜本的な改善が必要である。

(2) サービスの質の確認

評価項目(小項目)	確認内容	自己評価	一次評価	総合評価
		指定管理者	施設所管課	指定管理者業務評価委員会
1 利用者ニーズの把握	利用者ニーズを把握するとともに、利用者ニーズを事業の計画及び実施に反映できているか	4	4	3.3
2 接客態度・苦情要望等への対応	接客態度、苦情・要望等への対応等は適切か	4	4	3.8
3 施設内の案内表示	施設内の案内表示は見やすくなっているか	4	4	4.0
4 利用案内	施設情報・事業実施情報等は容易に入手できるようになっているか パンフレット・利用案内等は分かりやすくなっているか	4	3	3.0
5 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理は適切か	4	4	3.8
6 施設運営業務	実施された事業内容は適切に行われているか	4	4	4.0
7 備品管理	備品管理は適切に行われているか	4	4	3.8
8 自主事業の実施状況	施設目的に沿った自主事業の実施されたか	4	4	3.8
9 目標達成度	施設目的・課題に沿った目標を設定し、目標達成に向けた取組はなされたか	4	4	3.5
配点45点(9項目×5点)		小計	36	33.0

評価基準

点数	小項目の評価基準
5	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準以上の運営がなされ、非常に優れていると認められる。
4	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準以上の運営がなされ、優れていると認められる。
3	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がなされ、適正であると認められる。
2	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営に達しておらず、簡易な改善や一部目標の見直しを要する。
1	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がほとんどなされておらず、早急な改善や目標の見直しが必要である。
0	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営が全くなされておらず、抜本的な改善が必要である。

(3) サービス提供の継続性と安定性

評価項目(小項目)	確認内容	自己評価	一次評価	総合評価
		指定管理者	施設所管課	指定管理者業務評価委員会
1 経費節減・効率的な運営	経費節減及び効率的な管理運営のための工夫が見られるか	3	3	3.0
2 事業収支	事業収支は妥当か	3	3	3.0
3 経営状況	指定管理者の経営状況は妥当か	3	3	3.0
4 人件費比率	支出に占める人件費の割合は妥当か	3	3	3.0
5 外部委託費比率	支出に占める外部委託費の割合は妥当か	3	3	3.0
配点15点(5項目×3点)		小計	15	15.0

評価基準

点数	小項目の評価基準
3	事業計画・収支計画等に基づく経営がなされている。
2	概ね事業計画・収支計画等に基づく経営がなされているが、簡易な改善や一部業務の見直しを要する。
1	事業計画・収支計画等に基づく経営がほとんどなされておらず、早急な改善が必要であり、業務の全面的な見直しが必要である。
0	事業計画・収支計画等に基づく経営が全くなされておらず、抜本的に業務の全面的な見直しが必要である。

9 自己評価・一次評価結果

(1) 評価結果

評価分類	配点	自己評価 (指定管理者)	配点に対する割合	一次評価 (施設所管課)	配点に対する割合
(1) 業務の履行状況の確認	60 点	60 点	100 %	60 点	100 %
(2) サービスの質の確認	45 点	36 点	80 %	35 点	78 %
(3) サービス提供の継続性と安定性	15 点	15 点	100 %	15 点	100 %
合計	120 点	111 点	93 %	110 点	92 %

(2) 自己評価(指定管理者評価)の内容

年度	評価内容
30	協定書・仕様書・事業計画書等に定める水準の管理運営は実施できた。 自主事業も開催でき、目標を超える水準で実施できた。また、土佐山学舎で事業を実施するなど地域と連携した事業が実施できた。 事業団及び大成有楽不動産による巡回点検を実施し安全で快適な施設の提供に取り組んだ。
元	協定書・仕様書・事業計画書等に定める水準の管理運営は実施できた。 自主事業については中止事業もあったが、参加者満足度が4点満点中4点と高評価を得ることができた。 事業団及び大成有楽不動産による巡回点検を実施し安全で快適な施設の提供に取り組んだ。
2	
3	
4	

(3) 一次評価(施設所管課評価)の内容

年度	評価内容
30	事業団グループとして大成有楽不動産と巡回点検を実施することで協定書、仕様書、事業計画書に定める水準の管理運営が安全に実施できた。立地条件では利用促進が難しい施設であるなか、休日のファミリー向スポーツ事業は申込が多いなど、一定の結果が出ているため、次年度以降の自主事業に期待したい。 また、土佐山学舎へ「スポーツ鬼ごっこ」の派遣指導を実施するなど、地元と連携した取組みができています。
元	仕様書、事業計画書に定める水準の管理運営が安全に実施できている。 ファミリー向けスポーツ事業は、申込者も多く、参加者満足度も高いため、引き続き実施し、利用促進を図ってほしい。 土佐山運動広場は、地元と密着した施設でもあるため、引き続き地元と連携した取組みを行うとともに、地元以外の集客にも取り組んでほしい。
2	
3	
4	

10 総合評価結果

(1) 評価結果

評価分類	配点	評価 (指定管理者業務評価委員会) 合計	配点に対する割合	評価
(1) 業務の履行状況の確認	60 点	59.8 点	100 %	A
(2) サービスの質の確認	45 点	33.0 点	73 %	
(3) サービス提供の継続性と安定性	15 点	15.0 点	100 %	
合計	120 点	107.8 点	90 %	

評価基準

区分	S	A	B	C
評価基準	評価点数の合計値が配点合計点数の85%以上、かつ、全ての小項目で3点以上の評価であるもの	・評価点数の合計値が配点合計点数の65%以上85%未満 ・評価点数の合計値が配点合計点数の85%以上、かつ、小項目で3点未満の評価があるもの	評価点数の合計値が配点合計点数の45%以上65%未満	評価点数の合計値が配点合計点数の45%未満
評価内容	・事業計画書・仕様書を上回る取組がなされ、非常に優れた実績をあげている。 ・適正に管理運営が行われており、またはそれ以上の取組がなされ、優れた実績をあげている。	事業計画書・仕様書に沿って適正に管理運営が行われている。	概ね事業計画書・仕様書に沿った適正に管理運営が行われているが、管理運営の一部に改善を要する。	事業計画書・仕様書に沿った管理運営が行われていない事項があり、管理運営の大部分において改善を要する。

(2) 総評

<p>概ね適正な管理運営がなされています。 共同企業体の強みを生かし、専門性を発揮して黒字運営できている点は評価できます。 今後は、実績を踏まえた目標を設定し、アンケートの実施方法を工夫してニーズの把握・反映に努めてください。</p>

(3) 総合評価実績

年度	評価結果	総合評価点数	総評
30	S	109.0 点	適正な管理運営がなされています。 地域との連携や自主事業について積極的に実施していると評価できます。 今後は、利用者増加に向けた更なる取組を期待します。
元	A	107.8 点	概ね適正な管理運営がなされています。 共同企業体の強みを生かし、専門性を発揮して黒字運営できている点は評価できます。 今後は、実績を踏まえた目標を設定し、アンケートの実施方法を工夫してニーズの把握・反映に努めてください。
2		点	
3		点	
4		点	

11 指定管理業務における課題・改善事項及びそれらへの対応(指定管理者記入欄)

課題・改善事項	改善 時期	改善に向けた対応
土佐山運動広場全体の用器具経年劣化	令和元年度～	30年度は更新なかったが今後も状態等に応じて適宜補充又は更新。
全体的な利用者数の減少	令和元年度～	平成30年度に土佐山学舎において「スポーツ鬼ごっこ」運動指導を行う機会があった。今後も地元住民へのPRとなる事業を行うとともに地元以外の利用増加策が必要。